

# 令和6年度

事業計画書  
一般会計収支予算書  
法定台帳関係費特別会計収支予算書  
中小企業相談所特別会計収支予算書  
倉敷商工会館特別会計収支予算書  
会員共済事業特別会計収支予算書  
特定退職金共済事業特別会計収支予算書  
倉敷商工会館修繕引当金特別会計収支予算書  
退職給与積立金特別会計収支予算書  
財政調整基金特別会計収支予算書  
労働保険事務組合特別会計収支予算書  
委員会特別会計収支予算書  
倉敷商工会議所青年部特別会計収支予算書  
倉敷商工会議所女性会特別会計収支予算書  
くらしきTMO特別会計収支予算書

倉敷商工会議所

# 令和 6 年度事業計画

## 1. 基本方針

地域経済を支える中小企業・小規模事業者は、企業数の雇用の7割、付加価値額約半分を占め、日本人人口の半分以上を越える存在となっています。中小企業・小規模事業者が地域経済の好循環を生み出すことは、持続可能な地域経済にするとともに、日本の成長エンジンとなることが期待されています。

国の令和6年度一般会計は、能登半島地震災害対策費を含め112.6兆円規模と、前年度から1.8兆円減少し、コロナ禍によって膨張した歳出構造の平時化が進みます。中小企業との関係予算は、物価高、人手不足等の厳しい経営環境への対応や価格転嫁対策をはじめ、環境変化に挑戦するための設備投資・新規輸出支援や伴走支援など挙げられます。

商工会議所の経営支援は環境の変化とともに変容しています。従来の記帳・税務・金融支援など課題解決型「経営改善指導」に加え、多様化・専門化する経営課題に対応する「伴走型経営支援」に当所としては注力し、対応力の強化を図ります。

我が国の構造的な課題である人口減少や少子高齢化に伴う市場縮小、都市部への人口流出により、地域の疲弊と並行して、小規模事業者数は減少傾向にあります。令和3年の経済センサス活動調査によると、当所管内の事業者数は5年間で6%以上も減少しており、地域社会を守るためにも策は喫緊の課題です。

政府は賃上げ促進税制に関し、女性活躍や子育て支援に積極的な企業向けの税優遇枠を2024年度税制改正で創設します。女性、外国人、シニア、障害者等、多様な人材の活躍を推進しなければ、人手不足は避けられません。女性就労者数は10年間で370万人増加し、労働人口の45%は女性で、働きやすい環境整備に女性の視点は重要です。

一昨年に岡山県は産学官連携「カーボンニュートラルネットワーク会議」を組織しました。JFEスチール(株)西日本製鉄所の高効率型電気炉を2030年導入に向けて計画、倉敷市と連携した旭化成(株)水島製造所の高純度のメタンガスをゼオライト(CO2吸着剤)で精製する実証実験を継続、2027年を目途の商用化を目指しています。国は2035年までに国内の新車を全て電動車にする方針で、国内最大のEV生産拠点である地元、三菱自動車工業(株)水島製作所に期待を寄せています。

地場産業では萩原工業(株)が廃ブルーシートから新たなブルーシートを製造する水平リサイクルを国内で初めて実施するなど、倉敷SDGsを展開します。

今年度は「倉敷未来ビジョン」をベースに重点事業の柱を再編し、人口減少社会への対応として、「健康経営」は本年度も引き続き実施します。従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組み、健康づくりや治療と仕事が両立できる環境づくりを医療・福祉部会、健康・福祉委員会をはじめ関係機関と連携して会員企業のサポート体制を構築します。

5商工会議所(姫路・松本・福山・北九州・倉敷)は、各ワーキンググループ(ものづくり・まちづくり・にぎわいづくり)での会議所間の広域連携を図る中、2025年大阪・関西万博を見据えた観光コンテンツを検討し、インバウンド誘致に取り組みます。また、観光委員会で行っている「倉敷美観地区トイレプロジェクト」は実施計画を策定し、選ばれた観光地としてビヨンドコロナを見据え、他の地域との違いを明確に打ち出した観光資源づくりを推進します。

本年も役職員一同、地域企業の皆様を全力で支援する所存です。

## 2. 重点事業

( \_\_\_\_\_ 新規事業)

### (1) 100周年に向けたまちづくりの強化

大型店出店規制からまちづくりへと国の政策が転換する中、当商工会議所は、いち早く中心市街地活性化事業に取り組み、国内外から注目される成果を上げた。井上峰一会頭はこの方向性を継承・発展させるとともに、広域連携という新たな取り組みをスタートさせた。

姫路、松本、福山、北九州商工会議所と協定を結んだ広域連携は2年目に入ったが、昨年10月の合同視察会、同12月の姫路商工会議所との観光委員会正副委員長意見交換会をはじめ、情報交換と交流が進展した。令和7年は大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭が開催される年であることを見据え、インバウンド誘致につながる広域観光の検討に挑戦したい。

また、当地域の大きな課題である市内に5つの商工団体がある現状を踏まえ、連携によって市全体の活性化や産業振興に貢献できる方策を探りたい。

中心市街地の休日1日あたりの歩行者・自転車通行量は従来、10万人を超える水準を保っていたが、コロナ禍で令和2年度は57,440人にまで落ち込んだ。同3年度は65,807人、同4年度は89,350人と回復基調にあり、目標である同7年度の124,000人達成に向けて、官民を挙げて取り組む必要がある。

倉敷屏風祭の開催や「くらしき美観地区事業者振興会」への支援などに加え、観光委員会の「倉敷トイレプロジェクト」を推進し、中心部のまちづくりに貢献したい。倉敷駅周辺の大型店と商店街が連携する「TEAM K6」は10周年を迎え、記念事業を検討する。

当地域では、まちづくりが観光振興につながった歴史がある。地域の歴史や文化、芸術を見直し、女性や外国人、社会的弱者など多様な視点も取り入れながら、民藝など倉敷のアイデンティティを踏まえた質の高いまちづくりで、観光業のさらなる発展につなげたい。

100年史編纂では現在、別棟倉庫に眠る大量の史料を整理中で、昭和初期の貴重な文書群も見つかり、分類とリスト化を進めている。前年度はプリントされた古写真をアーカイブ化したが、新たに大量のネガフィルムも発見した。

これらを利用しやすい形で後世に伝えるとともに、当商工会議所の名に恥じない100年史を編纂し、当所の原点である歴史と文化を生かしたまちづくりや産業振興につなげたい。令和11年に迎える100周年に向け、地域貢献事業の検討にも着手したい。

項 目	細 目
1. 連携による拠点性の強化	① 産・学・官連携の推進 ② 姫路、松本、福山、北九州商工会議所との連携推進 ③ <u>大阪万博を見据えた広域観光の検討</u>

<p>2. <u>中心部のまちづくり推進</u></p> <p>3. 100周年記念事業</p>	<p>④ <u>倉敷市内5商工団体の連携推進</u></p> <p>⑤ 玉島バイパスの4車線全線開通</p> <p>⑥ 玉島・笠岡道路、笠岡バイパスの早期開通</p> <p>① JR山陽本線倉敷駅付近高架化事業の早期推進</p> <p>② 市街地内の交通渋滞解消への取り組み</p> <p>③ <u>「倉敷トイレプロジェクト」の推進</u></p> <p>④ <u>「TEAM K6」10周年記念事業の検討</u></p> <p>⑤ 倉敷屏風祭など各種イベントの開催</p> <p>⑥ 「くらしき美観地区事業者振興会」への積極的支援</p> <p>① 100年史編纂に向けた史料・写真の整理</p> <p>② <u>100周年に向けた地域貢献事業の検討</u></p>
--	--

## (2) 人口減少社会への対応と「健康経営」

人口減少・少子高齢化の中で地域を活性化するため、国は平成26年に連携中枢都市圏構想を打ち出し、倉敷市を中枢都市とする高梁川流域7市3町は同27年3月、連携協約を締結した。

これを受け、中心市街地活性化事業でスタートした「くらしき朝市三斎市」は、流域連携を目的に加えた「高梁川流域『倉敷三斎市』」にリニューアルした。コロナ禍で20カ月間の中止を余儀なくされ、復活後も暫定開催だったが、昨年8月に「復活祭」を行い全面開催にこぎ着けた。再生は徐々に成果を上げているが、出店者の増加は喫緊の課題であり、流域商工会議所・商工会との連携再構築をさらに進め、高梁川流域連携中枢都市圏構想の推進に貢献する。

事業所にとって、人口減少社会の中で雇用を維持するためには、健康で文化的な就労環境を整備することは非常に重要である。

当商工会議所は令和2年から毎年、健康優良法人の認定を受けており、事務局ではラジオ体操導入、万歩計活用とポイント制によるウォーキングの推奨などを取り入れた。会員事業所に向けては各種セミナーや個別相談会を開催しており、今後は、職員の健康経営アドバイザーの資格取得を進め、関係機関と連携し「健康経営」の普及に努めていく。当商工会議所には全国に先駆けて設立した医療・福祉部会と健康・福祉委員会があり、医師の副会長がいる強みも生かし、引き続き医療・福祉のまちづくりを進める。

また、有効求人倍率が2倍前後で推移するなど、労働力の需給バランスがひっ迫する当地域において、人材不足に悩む企業も多く、対応策を研究し、建設委員会提案の市内高校への土木科及び建築科新設の要望に向けた調査を行う。

他都市への人口流出防止に資するには、生活環境の向上も求められる。生活の質を向上させる地域の文化・芸術、スポーツの充実は、郷土愛の醸成にもつながり、依頼に応じ後援する。

水島港まつりは昨年、「水島よさこい」中心にリニューアルされ、開催日も7月から11月に変更するなど、大きな改革を行った。当商工会議所としても、この動きを後押しするなど、全国有数の工業地帯を抱える水島のまちづくりに協力し、倉敷との連携を強化しなければならない。倉敷と水島の一体化、水島地区の活性化は、市全体のまちづくりの上でも意義深いことであり、具体策を模索していきたい。

項 目	細 目
1. 高梁川流域連携中枢都市圏の推進	① 高梁川流域連携中枢都市圏の商工会議所、商工会との連携再構築 ② 高梁川流域「倉敷三斎市」再生による流域情報の発信強化
2. <u>健康で文化的な就労環境の整備</u>	① 「健康経営」普及の強化 ② 人材不足対策事業の検討 ③ 市内高校への土木科及び建築科新設要望のための調査 ④ 医療・福祉のまちづくり ⑤ 倉敷発達障がい研究会への参画 ⑥ 「倉敷未来プロジェクト」の推進 ⑦ 地域の文化・芸術、スポーツへの支援
3. 水島地区の活性化	① 水島地区のまちづくり支援 ② <u>倉敷と水島の連携強化</u>

### (3) デジタルとグリーンを基本指針に

事務局のデジタル化は、常議員会と議員総会のペーパーレス化、会報のメール配信、90%近い会員事業所のメールアドレス取得、デジタルサイネージ導入、スマートフォンを活用した「オフィスリンク」とグループウェア「Desknet's NEO」の連動などを実施し、広域連携協定を結ぶ商工会議所からの関心を集めた。

今年度はRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を実装化し、会員入会事務処理の自動化を図り、労働生産性を高めることから、他の業務への拡大を検討したい。

また、個人情報の取り扱いや作成費用のねん出など様々な課題はあるが、RPAを活用した商工名鑑の発行も研究し、会員企業の情報収集と発信機能を強化したい。

会員事業所に対しては、DX普及推進体制強化事業でデジタル化を後押しするとともに、当商工会議所の実績がショールーム的機能を果たすことを期待している。

新しい商工会館の建設に伴い、商工会議所として全国で初めてとなったZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）実証事業は、初年度の年間エネルギー消費量の基準値に対する削減率

が75.0%と、設計値の54.0%を大幅に上回る実績を上げ、削減された二酸化炭素排出量は221.92トンにも及んだ。

ZEBへの関心は高く、日本商工会議所や（一社）日本経済団体連合会をはじめ県内外各地の商工会議所の視察や関連業界の取材などが相次いだ。前年度も建て替えを検討している商工会議所からの問い合わせや視察が続き、（一社）板硝子協会のサイトにも記事が掲載され、実際に手掛けた株中電工の担当者が学会発表も行った。

こうした状況を踏まえ、ZEB関係の情報発信に努め、会員事業所をはじめ、視察や取材の依頼には積極的に対応し、脱炭素社会の構築や各地の商工会館建設に協力する。

項 目	細 目
1. デジタル推進による業務効率化	① 会員事業所メール登録の推進 ② 各種調査業務のデジタル化推進 ③ 「デジタル推進懇談会」の運営 ④ DX 普及推進体制強化事業の実施 ⑤ <u>RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の実装化</u> ⑥ <u>RPAを活用した商工名鑑発行の研究</u> ⑦ 効率的なメールリストの活用 ⑧ デジタルサイネージの普及及び利活用 ⑨ インターネットを活用した観光情報の発信
2. カーボンニュートラルへの貢献	① <u>ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）の普及啓発</u> ② ZEB 実証事業の実施 ③ 倉敷商工会館視察等の積極的受け入れ

#### （4）新産業創出と中小零細企業の支援

全国有数の工業都市であり、観光文化都市であり、医療福祉都市でもある倉敷市が今後、持続的に発展するためには、新しい産業の創出が欠かせない。

この観点から当商工会議所は、平成30年11月から航空宇宙産業との関わりを始め、昨年5月には同事業の実施主体である（一社）MASCの理事長に井上峰一会頭が就任して連携はさらに強固になった。同11月には市立美術館向かいに国内初の「くらしき空飛ぶクルマ展示場」がオープンした。井上会頭は同2月に笠岡ふれあい空港で全国の商工会議所会頭として初めて空飛ぶクルマに搭乗したが、関西・大阪万博を前に県内外で空飛ぶクルマへの関心は高まり、MASCへの空飛ぶクルマの展示、テストフライトの依頼が相次いでいる。

この機運の高まりを受け、事業化に結び付けるためにも、引き続きMA S Cと協調し、航空宇宙産業推進協議会で地元業者への波及を目指すとともに、県境をまたぐ瀬戸内海沿岸の12商工会議所・商工会とMA S Cによる広域連携組織「次世代モビリティ瀬戸内コンソーシアム」で実験の成果を横展開して瀬戸内海航路の開拓を目指したい。

新産業創出だけでなく、我が国及び地域を支える中小企業、小規模事業者、個人事業者のサポートは、商工会議所の存在意義の一つである。特に小規模事業者や個人事業者の経営改善と創業、事業承継は地域経済を守る要であり、各種制度をPRしながら助言、指導、支援をしっかりと行っていききたい。

中小企業相談所には、相談に応じるだけでなく、現状分析、課題抽出、解決というプロセスを傾聴と対話を通じて経営者自らが実施できるようにする「経営力再構築伴走支援」が求められており、それに対応できる経営指導員の育成に努めなければならない。

インボイス制度、改正電子帳簿保存法の移行については、引き続きセミナーや個別相談会で周知に努め、中小零細企業、個人事業者を中小企業相談所で強力に支援する。

昨年2月、つくば商工会・真備船穂商工会とともに「倉敷市小規模企業・中小企業振興基本条例」の制定を陳情したが、未だ実現に至っていない。岡山県と県内6市が同様の条例を設置済みという現状を鑑み、旗を降ろすことなく、粘り強く倉敷市に働きかけていきたい。

項 目	細 目
1. 新しい産業創出への支援	① 航空宇宙産業推進協議会事業の推進 ② (一社)MA S Cとの連携 ③ 「次世代モビリティ瀬戸内コンソーシアム」の運営 ④ 「 <u>そこまで来ている 空のビジネス</u> 」セミナー・講演会等の開催
2. 国・県・市との連携による中小零細企業の支援	① くらしき創業サポートセンター事業の推進 ② 伴走型小規模事業者支援推進事業の実施 ③ 各種補助金の申請支援 ④ 事業承継の取り組み支援 ⑤ 事業継続力強化計画策定支援 ⑥ 小規模事業者のインボイス制度対応支援 ⑦ 改正電子帳簿保存法への対応支援 ⑧ 「倉敷市小規模企業・中小企業振興基本条例」制定の支援

## (5) 「稼ぐ力」とカスタマーファースト

商工会館建設に端を発した第1期中期経営計画は、前年度に最終年度を迎え、ほぼ計画通りの実績になる見込みであるが、このところ入会数が失速し、早急な対応が必要になっている。

かつて年間の入会数は100～130件で推移していた。新型コロナ対応で相談に訪れた事業所の入会が相次ぎ、令和4年度は412件にも及び、累計では前年度末から249件の純増となった。しかし、同5年度は100件をやや超える水準となる見込みで、年度末では4年ぶりの純減となり、新たな入会勧奨策と退会防止が大きな課題である。

また、入会には個人3口以上、法人4口以上が必要だが、長年加入している会員の中には、基準を下回る事業所もあり、公平を期すためにも適正化を進めたい。

収納業務の効率化も進めていく必要があり、口座振替率は会費が80%、特定商工業者負担金が58%にとどまっており、振り込みの会員は765事業所、特定商工業者負担金は899事業所もある。会費と特定商工業者負担金の未納者には、年度末に職員が集金のために訪問しており、令和5年度末の件数は延べ650件近くになる。職員の負担軽減と収納率アップのため、口座振替の推進等でこの問題を解決していく必要がある。

日本商工会議所と損害保険会社が提携した「商工会議所保険制度」は、入会者が増加傾向にあり、手数料収入も増えている。特に「業務災害補償プラン」や「ビジネス総合保険」が好調で、これらの保険をさらに普及させるため、代理店を対象にした表彰制度の創設を検討する。

会報では、商工会議所の動きや各委員会委員長の人となり伝えるだけでなく、前年度は令和6年2月号までで104事業所を紹介、新しい契約や来店に結び付いたケースもあると聞く。今後もさらに情報発信を強化し、会員事業所とのコミュニケーションツールとなるよう努めたい。

役員、議員、職員が一丸となって今後、さらなる財務基盤の強化による持続可能な会議所経営を図り、地域社会への貢献や会員事業所へのサービス向上にさらに取り組まなければならない。

項 目	細 目
1. 組織の強化、財政基盤の確立	① 会員加入の強化 ② <u>商工会議所保険制度普及のための表彰制度創設</u> ③ 各種共済制度の加入促進 ④ 収益事業の再評価 ⑤ 退会防止の強化 ⑥ 会員口数の適正化 ⑦ 会費・特定商工業者負担金の口座振替推進
2. 効率的な施設運営とサービス強化	① 貸会議室の効率的な管理運営の検討 ② 会報の紙面充実



### 3. 事業項目

#### (1) 意見要望・研究活動

会員の意見を結集し、地域産業経済の改善発達を図るために諸会議を開催し、日本商工会議所をはじめ国、県、市など関係機関に対し提言、要望を行う。

項目	細目
1. 諸会議の開催	
2. 施策・制度、地域の活性化に関する要望、提言	① 倉敷美観地区内のイベント最適化のための提言

#### (2) 経営環境変化に対応する地域産業への支援

地域産業活性化に向けて、情報化、国際化、技術化、環境問題など新たな経営環境変化へ対応する。

項目	細目
1. IT（情報技術）の利用促進	① クラウドファンディングの研究 ② マネーフォワードクラウド会計制度の推進
2. 国際化への対応	① ジェトロ主催のセミナーとリンク
3. 技術開発・産学共同研究の支援	① 高校生の地域資源活用への支援
4. 環境・エネルギー問題などへの対応	① 建築物の省エネの徹底推進
5. 女性活躍社会への対応	① 女性役員の登用など経営への参画推進

#### (3) 魅力ある都市づくりの実現

倉敷市の拠点性を高め、活力ある都市、地域にするため、行政、関係団体との連携を強化、産業、福祉などの観点から都市基盤の整備促進を図るとともに地域の活性化に資する活動を展開する。また、慢性的な人手不足や働き方改革を背景として、社会福祉事業へ積極的に参画する。

項目	細目
1. 交通体系の調査・研究と物流機能の整備促進	① 水島臨海鉄道を含む公共交通問題の調査・研究 ② 倉敷駅・美観地区周辺の渋滞及び駐車場不足の調査・研究

2. 地域イベントの開催と推進	
3. 社会福祉事業への参画	① 医療福祉分野の人手不足と外国人従業者受け入れについての調査研究 ② 検診受診率の改善に向けた小規模事業者等への啓発

#### (4) 中小企業の活力強化と小規模企業の経営基盤の強化

地域経済を支える中小企業の経営基盤の強化を図るため、商工業振興対策、調査活動、労働対策を推進するとともに、小規模事業者のためにきめ細かい経営改善普及事業を推進する。

項 目	細 目
1. 商工業振興対策	① 地域商工業振興対策 ② 講演・講習・研究事業の推進 ③ 商工技術と産業教育の振興
2. 地域産業動向、経営環境変化に関する調査活動	
3. 中小・小規模企業対策の推進	① 経営相談、税務相談など指導事業の充実 ② 融資、共済制度などの利用促進 ③ メディア等を活用した創業者・会員事業者への広報支援

#### (5) 多様な会員サービスの展開

優良商工従業員表彰や共済制度、従業員福祉など多岐にわたる会員サービスの拡散強化に努めるとともに、広報活動を強化、会議所活動への会員事業所の積極的な参加・利用を促す。

項 目	細 目
1. 会員サービスの充実	① 電子証明書の取次業務と割引クーポン券の発行 ② 各種共済制度等への加入促進と加入者還元事業の推進 ③ 企業間の交流促進・機会創出
2. 広報活動の強化	① ソーシャルメディアの活用

以 上

予 算 書

# 令和 6 年度 予算 総括 表

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日)

倉敷商工会議所

(単位 千円)

会 計 別	本年度予算額	前年度予算額	比較増減 (△)	備 考
一 般 会 計	△200,373	316,422	△ 516,795	
法定台帳関係費特別会計	6,620	6,748	△ 128	
中小企業相談所特別会計	87,977	84,470	3,507	
倉敷商工会館特別会計	139,284	128,455	10,829	
会員共済事業特別会計	18,054	18,088	△ 34	
特定退職金共済事業特別会計	493,801	511,001	△ 17,200	
小 計	545,363	1,065,184	△ 519,821	
倉敷商工会館修繕引当金特別会計	123,380	91,736	31,644	
退職給与積立金特別会計	125,738	114,648	11,090	
財政調整基金特別会計	90,004	77,001	13,003	
小 計	339,122	283,385	55,737	
労働保険事務組合特別会計	9,170	8,850	320	
委員会特別会計	19,156	17,036	2,120	
倉敷商工会議所青年部特別会計	7,200	6,960	240	
倉敷商工会議所女性会特別会計	6,830	7,227	△ 397	
くらしき T M O 特別会計	25,215	26,440	△ 1,225	
小 計	67,571	66,513	1,058	
合 計	952,056	1,415,082	△ 463,026	
純 計(各会計間の重複を除く)	843,299	1,318,220	△ 474,921	

(上記純計に含まれる繰越金)      △      6,421      461,861      △      468,282

差 引      849,720      856,359      △      6,639

# 令和6年度一般会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

(単位 千円)

## 収入の部

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備考
1. 会費		78,400	78,200	200	
	1. 会費	78,400	78,200	200	19,550口 (1口4,000円)ほか
2. 事業収入		31,850	28,900	2,950	
	1. 検定料	2,300	3,100	△ 800	珠算、簿記、ネット試験等 検定料
	2. 事務受託費	300	1,200	△ 900	税団協等事務受託料
	3. 報奨金	3,250	3,000	250	労働保険報奨金
	4. その他 事業収入	26,000	21,600	4,400	広告料、各種使用料、手数料 ほか
3. 市補助金		0	0	0	
	1. 市補助金	0	0	0	
4. 寄付金		0	0	0	
	1. 寄付金	0	0	0	
5. 雑収入		800	1,500	△ 700	
	1. 雑収入	800	1,500	△ 700	預金利子、その他雑収入
6. 繰越金		△311,423	207,822	△ 519,245	
	1. 繰越金	△311,423	207,822	△ 519,245	前期繰越金
7. 繰入金		0	0	0	
	1. 繰入金	0	0	0	
合 計		△200,373	316,422	△ 516,795	

## 支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 給 与 費		12,527	5,517	7,010	
	1. 給 料	10,606	3,682	6,924	職員給料
	2. 諸 給	673	607	66	諸手当
	3. 賞 与	1,248	1,228	20	期末手当
2. 旅 費		300	100	200	
	1. 旅 費	300	100	200	出張旅費、交通費
3. 事 務 局 費		4,800	5,300	△ 500	
	1. 通 信 費	2,100	2,000	100	電話、郵便料
	2. 什器備品費	600	1,000	△ 400	パソコンほか
	3. 消 耗 品 費	1,500	1,500	0	事務用消耗品
	4. 函 書 印 刷 費	300	300	0	事務用諸印刷、図書費ほか
	5. その他事務費	300	500	△ 200	電算事務費ほか
4. 法 定 台 帳 関 係 費		440	568	△ 128	
	1. 法 定 台 帳 関 係 費	440	568	△ 128	法定台帳関係費特別会計 繰入金
5. 会 議 費		450	250	200	
	1. 会 議 費	450	250	200	議員総会、常議員会、その 他諸会議
6. 事 業 費		35,603	41,439	△ 5,836	
	1. 相 談 所 費	16,553	13,089	3,464	中小企業相談所特別会計 繰入金
	2. 商 工 振 興 費	11,000	20,000	△ 9,000	商工振興、意見活動、講演 会、講習会、懇談会、説明 会、表彰、商工技術、各種 競技会、観光、情報
	3. 広 報 費	1,800	3,000	△ 1,200	会報発行費ほか
	4. 調 査 研 究 費	50	50	0	賃金関係調査、LOBO調 査、その他各種調査費
	5. 部 会 費	1,200	1,200	0	部会活動諸費
	6. 委 員 会 活 動 費	1,600	1,600	0	委員会活動費
	7. 事 業 支 援 活 動 費	200	200	0	各種事業等への支援活動 に係わる活動費
	8. 商 業 活 性 化 事 業 費	2,000	2,000	0	商業まちづくり事業費
	9. その他事業費	1,200	300	900	その他の事業費

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
7. 渉 外 費		100	100	0	
	1. 渉 外 費	100	100	0	慶弔関係費
8. 分 担 金		4,000	3,500	500	
	1. 分 担 金	4,000	3,500	500	日商、中連、県連会費その他関連団体負担金
9. 福利厚生費		1,504	1,473	31	
	1. 福利厚生費	1,504	1,473	31	社会保険料、その他福利厚生費
10. 退 職 給 与 積 立 金		487	479	8	
	1. 退 職 給 与 積 立 金	487	479	8	退職給与積立金特別会計繰入金
11. 雑 費		4,000	6,500	△ 2,500	
	1. 雑 費	4,000	6,500	△ 2,500	消費税ほか諸雑費
12. 基金引当金		0	0	0	
	1. 基金引当金	0	0	0	
13. 繰 出 金		33,374	24,745	8,629	
	1. 繰 出 金	33,374	24,745	8,629	商工会館特別会計、会員事業所共済特別会計繰入金
14. 次期繰越金		△297,958	226,451	△ 524,409	
	1. 次期繰越金	△297,958	226,451	△ 524,409	
合 計		△200,373	316,422	△ 516,795	

# 令和6年度法定台帳関係費特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備考
1. 負担金		6,180	6,180	0	
	1. 本年度負担金	6,150	6,150	0	特定商工業者負担金 3,000円×2,050名
	2. 過年度負担金	30	30	0	特定商工業者負担金 3,000円×10名
2. 補填金		440	568	△ 128	
	1. 補填金	440	568	△ 128	会議所補填金
3. 繰越金		0	0	0	
	1. 繰越金	0	0	0	
合	計	6,620	6,748	△ 128	



## 支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 給 与 費		3,592	3,418	174	
	1. 給 料	2,325	2,248	77	専任職員給料
	2. 諸 給	492	420	72	諸手当
	3. 賞 与	775	750	25	期末手当
2. 事 務 局 費		740	1,040	△ 300	
	1. 借 室 費	120	120	0	事務室借料
	2. 施 設 管 理 費	180	180	0	電灯料、電話基本料、共益費
	3. 什器備品借料	240	240	0	軽四輪自動車
	4. 消 耗 品 費	200	500	△ 300	事務用品代、コンピューター経費、その他消耗品費
3. 事 業 費		1,280	1,330	△ 50	
	1. 印 刷 費	230	180	50	台帳用紙、依頼状、台帳記入要領説明書、通信用封筒
	2. 通 信 費	450	250	200	台帳記入依頼状、台帳返送料、督促状
	3. 交 通 費	0	0	0	
	4. 広 報 費	600	900	△ 300	特定商工業者宛広報事業費
4. 福 利 厚 生 費		705	667	38	
	1. 福 利 厚 生 費	705	667	38	社会保険料、その他福利厚生費
5. 退 職 給 与 積 立 金		303	293	10	
	1. 退 職 給 与 積 立 金	303	293	10	退職給与積立金特別会計繰入金
合 計		6,620	6,748	△ 128	

## 令和6年度中小企業相談所特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 補助金		58,924	59,381	△ 457	
	1. 補助金	58,924	59,381	△ 457	経営指導員人件費、補助員人件費、福利厚生費、福利環境整備費、旅費、事務費、事業費、経営安定事業費
2. 県連補助金		5,100	5,100	0	
	1. 県連補助金	5,100	5,100	0	広域サポーター人件費、福利厚生費
3. 市補助金		6,600	6,600	0	
	1. 市補助金	6,600	6,600	0	小規模企業指導事業費、中小企業指導事業費
4. 負担金		16,553	13,089	3,464	
	1. 負担金	16,553	13,089	3,464	会議所負担金
5. 手数料		0	0	0	
	1. 手数料	0	0	0	
6. 雑収入		800	300	500	
	1. 雑収入	800	300	500	持続化補助金形式審査事務委託金ほか
7. 繰越金		0	0	0	
	1. 繰越金	0	0	0	
合 計		87,977	84,470	3,507	

## 支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 俸 給 等		62,240	60,485	1,755	
	1. 俸 給	42,084	40,957	1,127	経営指導員俸給手当、補助員俸給手当、職務手当
	2. 諸 手 当	3,847	3,595	252	
	1. 扶 養 手 当	720	654	66	扶養手当
	2. 通 勤 手 当	2,407	2,401	6	通勤手当
	3. 住 居 手 当	720	540	180	住居手当
	3. 特 別 手 当	14,029	13,653	376	期末手当
	4. 超 過 勤 務 手 当	2,280	2,280	0	残業手当
2. 福利厚生費		12,053	11,709	344	
	1. 福利厚生費	12,053	11,709	344	社会保険料、その他福利厚生費
3. 退職給与積立金		5,234	5,146	88	
	1. 退職給与積立金	5,234	5,146	88	退職給与積立金特別会計繰入金
4. 指導事業費		5,980	4,860	1,120	
	1. 指導事務費	1,780	1,710	70	
	1. 指導事務費	1,530	1,410	120	
	1. 調査研究費	10	10	0	資料購入費
	2. 会 議 費	30	30	0	諸会議費
	3. 備 品 費	100	100	0	什器備品費
	4. 消 耗 品 費	200	200	0	事務用品、その他消耗品費
	5. 印 刷 製 本 費	100	100	0	名刺代ほか
	6. 通 信 運 搬 費	550	550	0	電話、郵便料
	7. 燃 料 費	150	150	0	軽四輪自動車ガソリン代
	8. 修 繕 費	50	50	0	備品等修理費ほか
	9. 旅 費	100	100	0	指導旅費(日商研修・会議ほか)
	10. その他事務費	240	120	120	手数料ほか
	2. 金 融 指 導 事 務 費	250	300	△ 50	小規模事業者経営改善資金融資取扱事務費、審査員謝金ほか

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
	2. 指導事業費	2,400	2,350	50	
	1. 講習会開催費	2,400	2,350	50	
	1. 集団指導	1,600	1,600	0	講習会、説明会、セミナー開催費
	2. 個別指導	800	750	50	定時個別相談ほか
	2. 記帳指導員謝金	0	0	0	
	3. その他事業費	1,800	800	1,000	講習会、説明会等開催諸費ほか
5. 資 質 向 上 対 策 事 業 費		560	460	100	
	1. 研 修 旅 費	0	0	0	
	2. 研 修 事 業 費	560	460	100	経営指導員研修旅費
6. 経 営 安 定 特 別 相 談 事 業 費		1,700	1,600	100	
	1. 特 別 相 談 事 業 費	1,700	1,600	100	経営安定特別相談事業相談員謝金、旅費、事務費ほか
	2. 講 習 会 等 出 席 及 び 緊 急 対 策 事 業 費 等	0	0	0	
7. 特 別 研 究 指 導 費		210	210	0	
	1. 主 席 経 営 指 導 員 特 別 研 究 指 導 費	140	140	0	研究指導手当、参考資料購入費、旅費
	2. 主 任 経 営 指 導 員 特 別 研 究 指 導 費	70	70	0	研究指導手当、参考資料購入費、旅費
合 計		87,977	84,470	3,507	

## 令和6年度倉敷商工会館特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

(単位 千円)

収入の部

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 使用料		86,965	83,300	3,665	
	1. 貸室料	53,500	53,000	500	貸事務所等テナント料
	2. 使用料	11,365	10,500	865	デジタルサイネージ放映料、 専用駐車場等使用料
	3. その他使用料	17,000	15,000	2,000	会議室、展示室等使用料
	4. 特別使用料	5,100	4,800	300	電気、水道等使用料、附属 倉庫、備品使用料ほか
2. 共益費		19,605	19,605	0	
	1. 共益費	19,605	19,605	0	テナント関係共益費
3. 預金利息		1	5	△ 4	
	1. 預金利息	1	5	△ 4	テナント敷金、その他預金利 子
4. 雑収入		0	800	△ 800	
	1. 雑収入	0	800	△ 800	その他雑収入
5. 繰入金		32,713	24,745	7,968	
	1. 繰入金	32,713	24,745	7,968	一般会計より繰入
合 計		139,284	128,455	10,829	

## 支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 給 与 費		41,682	34,495	7,187	
	1. 給 料	30,300	24,186	6,114	職員等給料
	2. 諸 給	2,686	2,099	587	諸手当
	3. 賞 与	8,696	8,210	486	期末手当
2. 旅 費		0	0	0	
	1. 旅 費	0	0	0	旅費、交通費
3. 管 理 費		28,695	24,618	4,077	
	1. 電 力 料	6,600	5,100	1,500	電気料
	2. 水 道 使 用 料	900	1,148	△ 248	上・下水道料
	3. 電 話 料	225	250	△ 25	電話基本料、通話料ほか
	4. 清 掃 費	5,000	4,950	50	清掃委託料
	5. 保 険 料	1,100	1,000	100	建物、什器、備品、機械等 保険料
	6. 什 器 備 品 費	100	200	△ 100	什器備品費
	7. 通 信 費	350	350	0	郵便料、通信環境費
	8. 消 耗 品 費	850	900	△ 50	消耗品費
	9. 印 刷 費	20	30	△ 10	諸印刷費
	10. 営 繕 費	100	100	0	施設、備品修理費
	11. 機 械 整 備 費	4,000	3,100	900	エレベーター、冷暖房機、火災 報知機、発電機等機械保守、 整備、検査料、警備料
	12. 衛 生 費	3,520	2,050	1,470	会館衛生環境維持費
	13. 事 務 費	200	200	0	事務用品、電算事務費
	14. 駐 車 場 借 料	5,730	5,240	490	駐車場用地借上料
4. 設 備 費		0	0	0	
	1. 設 備 費	0	0	0	
5. 会 議 費		20	20	0	
	1. 会 議 費	20	20	0	テナント会議等諸会議費
6. 福 利 厚 生 費		8,247	6,572	1,675	
	1. 福 利 厚 生 費	8,247	6,572	1,675	社会保険料、その他福利厚 生費
7. 退 職 給 与 積 立 金		3,300	3,145	155	
	1. 退 職 給 与 積 立 金	3,300	3,145	155	退職給与積立金特別会計 繰入金

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
8. 雑 費		500	700	△ 200	
	1. 雑 費	500	700	△ 200	諸雑費
9. 減 価 償 却 費		36,740	37,505	△ 765	
	1. 減 価 償 却 費	36,740	37,505	△ 765	修繕引当金特別会計繰入金
10. 租 税 公 課		18,000	19,200	△ 1,200	
	1. 租 税 公 課	18,000	19,200	△ 1,200	固定資産税ほか
11. 支 払 利 息		2,100	2,200	△ 100	
	1. 支 払 利 息	2,100	2,200	△ 100	借入金支払利息
合 計		139,284	128,455	10,829	

## 令和6年度会員共済事業特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

(単位 千円)

### 収入の部

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 手数料		14,743	15,438	△ 695	
	1. 生命共済 手数料	7,320	7,900	△ 580	事務手数料
	2. 大型共済 手数料	7,300	7,400	△ 100	事務手数料
	3. 個人年金 手数料	123	138	△ 15	事務手数料
2. 雑収入		2,650	2,650	0	
	1. 雑収入	2,650	2,650	0	成人病健診料、預金利子ほか
3. 繰入金		661	0	661	
	1. 繰入金	661	0	661	一般会計より繰入
合 計		18,054	18,088	△ 34	



## 支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 給 与 費		8,409	7,466	943	
	1. 給 料	6,120	5,400	720	職員給料
	2. 諸 給	249	266	△ 17	諸手当
	3. 特 別 手 当	2,040	1,800	240	期末手当
2. 事 業 費		4,034	4,498	△ 464	
	1. 事 業 費	3,624	3,934	△ 310	加入促進費、広報活動費
	2. その他事業費	410	564	△ 154	金融機関収納事務手数料ほか
3. 事 務 費		750	904	△ 154	
	1. 消 耗 品 費	30	30	0	事務用消耗品費
	2. 通 信 費	310	400	△ 90	電話、郵便料
	3. 印 刷 費	30	30	0	諸印刷費
	4. その他事務費	380	444	△ 64	車輛関係費、電算事務費ほか
4. 福 利 厚 生 費		1,593	1,417	176	
	1. 福 利 厚 生 費	1,593	1,417	176	社会保険料、その他福利厚生費
5. 退 職 給 与 積 立 金		796	702	94	
	1. 退 職 給 与 積 立 金	796	702	94	退職給与積立金特別会計繰入金
6. 租 税 公 課		2,472	3,101	△ 629	
	1. 租 税 公 課	2,472	3,101	△ 629	法人税ほか
7. 寄 付 金		0	0	0	
	1. 寄 付 金	0	0	0	
合 計		18,054	18,088	△ 34	

## 令和6年度特定退職金共済事業特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.掛金収入		270,000	274,000	△ 4,000	
	1.保 険 料	256,500	260,300	△ 3,800	特退共掛金
	2.運営事務費	13,500	13,700	△ 200	事務費収入
2.退職給付金受入		223,800	237,000	△ 13,200	
	1.退職給付金	223,800	237,000	△ 13,200	給付金
3.雑 収 入		1	1	0	
	1.雑 収 入	1	1	0	預金利子
4.繰 越 金		0	0	0	
	1.繰 越 金	0	0	0	
合 計		493,801	511,001	△ 17,200	

## 支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 給 与 費		8,361	8,076	285	
	1. 給 料	5,571	5,417	154	職員給料
	2. 諸 給	897	853	44	諸手当
	3. 特 別 手 当	1,893	1,806	87	期末手当
2. 事 業 費		2,363	2,922	△ 559	
	1. 事 業 費	1,089	610	479	加入促進費、広報活動費
	2. その他事業費	1,274	2,312	△ 1,038	金融機関収納事務手数料ほか
3. 事 務 費		435	430	5	
	1. 消 耗 品 費	50	50	0	事務用消耗品費
	2. 通 信 費	300	300	0	電話、郵便料
	3. 印 刷 費	50	50	0	諸印刷費
	4. その他事務費	35	30	5	電算事務費ほか
4. 福 利 厚 生 費		1,617	1,568	49	
	1. 福 利 厚 生 費	1,617	1,568	49	社会保険料、その他福利厚生費
5. 退 職 給 与 積 立 金		725	705	20	
	1. 退 職 給 与 積 立 金	725	705	20	退職給与積立金特別会計繰入金
6. 支 払 保 険 料		256,500	260,300	△ 3,800	
	1. 保 険 料 積 立 金	251,370	254,820	△ 3,450	特退共保険料
	2. 運 営 委 託 手 数 料	5,130	5,480	△ 350	運営委託手数料
7. 退 職 給 付 金		223,800	237,000	△ 13,200	
	1. 退 職 給 付 金	223,800	237,000	△ 13,200	退職給付金
合 計		493,801	511,001	△ 17,200	

## 令和6年度倉敷商工会館修繕引当金特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

### 収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 引 当 金		123,379	91,735	31,644	
	1. 繰 越 金	86,639	54,230	32,409	
	2. 本年度引当金	36,740	37,505	△ 765	商工会館特別会計より受入
2. 利 子		1	1	0	
	1. 利 子	1	1	0	預金利子
合 計		123,380	91,736	31,644	

### 支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 修 繕 費		123,380	91,736	31,644	
	1. 修 繕 費	123,380	91,736	31,644	
2. 繰 出 金		0	0	0	
	1. 繰 出 金	0	0	0	
合 計		123,380	91,736	31,644	

## 令和6年度退職給与積立金特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

### 収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 積立金		125,608	114,518	11,090	
	1. 繰越金	114,763	104,048	10,715	
	2. 本年度積立金	10,845	10,470	375	一般会計より受入 487 法定台帳会計より受入 303 相談所会計より受入 5,234 商工会館会計より受入 3,300 共済会計より受入 1,521
2. 利子		130	130	0	
	1. 利子	130	130	0	預金利子
合 計		125,738	114,648	11,090	

### 支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 退職給与金		125,738	114,648	11,090	
	1. 退職給与金	125,738	114,648	11,090	
合 計		125,738	114,648	11,090	

## 令和6年度財政調整基金特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

### 収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.基金引当金		90,002	77,000	13,002	
	1.繰越金	90,002	77,000	13,002	
	2.本年度引当金	0	0	0	
2.利子		2	1	1	
	1.利子	2	1	1	預金利子
合 計		90,004	77,001	13,003	

### 支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.運営費		90,004	0	90,004	
	1.運営費	90,004	0	90,004	
2.繰出金		0	77,001	△ 77,001	
	1.繰出金	0	77,001	△ 77,001	
合 計		90,004	77,001	13,003	

## 令和6年度労働保険事務組合特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

### 収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.手 数 料		5,880	5,800	80	
	1.手 数 料	5,880	5,800	80	事務委託手数料
2.報 奨 金		3,250	3,000	250	
	1.報 奨 金	3,250	3,000	250	岡山労働局報奨金
3.雑 収 入		40	50	△ 10	
	1.雑 収 入	40	50	△ 10	加入勧奨手数料等
合	計	9,170	8,850	320	

### 支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.事 務 費		1,500	1,500	0	
	1.事 務 費	1,500	1,500	0	総コン手数料、送料等
2.繰 出 金		7,670	7,350	320	
	1.繰 出 金	7,670	7,350	320	一般会計へ繰入(事務組合 担当職員人件費)
合	計	9,170	8,850	320	

## 令和6年度委員会特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

### 収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 会 費		8,580	7,380	1,200	
	1. 委員会特別会費	7,380	7,380	0	委員会特別会費
	2. その他特別会費	1,200	0	1,200	
2. 負 担 金		840	700	140	
	1. 負 担 金	840	700	140	幹事負担金等
3. 委員会活動費		535	535	0	
	1. 委員会活動費	535	535	0	一般会計より受入
4. 雑 収 入		1	1	0	
	1. 雑 収 入	1	1	0	預金利息
5. 繰 越 金		9,200	8,420	780	
	1. 繰 越 金	9,200	8,420	780	前期より繰越
合 計		19,156	17,036	2,120	

### 支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 事 業 費		19,156	17,036	2,120	
	1. 事 業 費	19,156	17,036	2,120	視察研修費等
合 計		19,156	17,036	2,120	



## 令和6年度倉敷商工会議所青年部特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

(単位 千円)

### 収入の部

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.会費収入		6,800	6,560	240	
	1.会費収入	6,800	6,560	240	会費
2.事業収入		0	0	0	
	1.事業収入	0	0	0	
3.渉外収入		0	0	0	
	1.渉外収入	0	0	0	
4.積立金繰入		0	0	0	
	1.積立金繰入	0	0	0	
5.助成金		300	300	0	
	1.助成金	300	300	0	会議所助成金
6.雑収入		100	100	0	
	1.雑収入	100	100	0	預金利息ほか
7.繰越金		0	0	0	
	1.繰越金	0	0	0	
合 計		7,200	6,960	240	

## 支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 事 業 費		3,810	2,515	1,295	
	1. 事 業 費	3,810	2,515	1,295	各委員会事業費ほか
2. 渉 外 費		1,556	2,391	△ 835	
	1. 渉 外 費	1,556	2,391	△ 835	全国会長会議登録料ほか
3. 負 担 金		315	306	9	
	1. 負 担 金	315	306	9	日本YEG負担金ほか
4. 広 報 関 係 費		150	150	0	
	1. 広 報 関 係 費	150	150	0	ホームページ更新費ほか
5. 積 立 金		300	500	△ 200	
	1. 積 立 金	300	500	△ 200	設立周年記念事業積立金 ほか
6. 運 営 費		1,069	1,098	△ 29	
	1. 運 営 費	1,069	1,098	△ 29	事務費、その他諸雑費
合	計	7,200	6,960	240	

## 令和6年度倉敷商工会議所女性会特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

(単位 千円)

### 収入の部

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.会 費		998	998	0	
	1.会 費	998	998	0	会費、賛助会費
2.特別会費		2,200	2,815	△ 615	
	1.特別会費	2,200	2,815	△ 615	全国大会参加費、視察研修 会費ほか
3.事業収入		1,600	1,500	100	
	1.事業収入	1,600	1,500	100	天満屋ふれ愛バザール、屏 風祭バザーほか
4.助成金		300	300	0	
	1.助成金	300	300	0	会議所助成金
5.補助金		0	0	0	
	1.補助金	0	0	0	
6.寄付金		0	0	0	
	1.寄付金	0	0	0	
7.雑収入		10	10	0	
	1.雑収入	10	10	0	預金利息ほか
8.繰入金		0	0	0	
	1.繰入金	0	0	0	
9.繰越金		1,722	1,604	118	
	1.繰越金	1,722	1,604	118	前期繰越金
合 計		6,830	7,227	△ 397	

## 支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 事 業 費		4,150	4,640	△ 490	
	1. 事 業 費	4,150	4,640	△ 490	全国大会、チャリティバザー、視察研修、新年祝賀会ほか
2. 会 議 費		300	300	0	
	1. 会 議 費	300	300	0	通常総会、諸会議ほか
3. 事 務 費		50	50	0	
	1. 事 務 費	50	50	0	消耗品費ほか
4. 通 信 費		50	50	0	
	1. 通 信 費	50	50	0	郵送料、電話料
5. 旅 費		50	170	△ 120	
	1. 旅 費	50	170	△ 120	旅費、交通費
6. 基 金 積 立 金		500	300	200	
	1. 基 金 積 立 金	500	300	200	積立金会計へ繰入
7. 予 備 費		1,500	1,500	0	
	1. 予 備 費	1,500	1,500	0	予備費
8. 雑 費		230	217	13	
	1. 雑 費	230	217	13	諸雑費
合 計		6,830	7,227	△ 397	

## 令和6年度くらしきTMO特別会計収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

倉敷商工会議所

### 収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備考
1.市補助金		20,465	21,610	△ 1,145	
	1.市補助金	20,465	21,610	△ 1,145	中心市街地活性化、三斎市 開催補助金
2.負担金		4,750	4,830	△ 80	
	1.負担金	4,750	4,830	△ 80	会議所負担金ほか
合	計	25,215	26,440	△ 1,225	

### 支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備考
1.事業費		16,005	16,030	△ 25	
	1.事業費	16,005	16,030	△ 25	屏風祭、三斎市開催費、事 務局運営費ほか
2.管理費		9,210	9,210	0	
	1.管理費	9,210	9,210	0	担当職員人件費、事務所賃 貸料ほか
3.倉敷まちづくりセンター跡地管理運営費		0	1,200	△ 1,200	
	1.倉敷まちづくりセンター跡地管理運営費	0	1,200	△ 1,200	
合	計	25,215	26,440	△ 1,225	